



2026年4月30日

各 位

会社名 北海道瓦斯株式会社
代表者名 代表取締役社長 川村 智郷
(コード：9534、東証プライム・札証)
問合せ先 常務執行役員 総務人事部長
八木 渉
(TEL. 011-792-8301)

苫小牧・カーボンニュートラル拠点整備の検討継続について

当社は、2025年1月7日に公表した、苫小牧東港におけるGXの推進を目指したカーボンニュートラル拠点の整備について、専任体制にて行ってきた設備内容や工期等の検討を、当初計画期間（2024年度～2025年度）以降も継続することを本日決定しましたのでお知らせいたします。

なお、詳細なスケジュール等につきましては、検討の進捗を踏まえ適宜お知らせいたします。

【ご参考 2025年1月7日発表要旨】

北ガスグループは、北海道における低・脱炭素社会の実現に向け、道内各地域と連携した再生可能エネルギーの導入拡大や、水素・e-メタン[※]等の次世代技術への挑戦に取り組んでおり、お客さまとの協働による省エネルギーの徹底や、デジタル技術を活用した効率的なエネルギーシステムの導入を推進し、供給安定性・環境性に優れた天然ガス（LNG）の普及拡大を進めております。

北海道におけるGXの推進をより一層加速させるため、エネルギーインフラが集約される苫小牧地区に、将来的な水素・e-メタン導入等を見据えた北ガスグループのカーボンニュートラル拠点となる新たなLNG基地の建設を検討し、今後も想定される天然ガス（LNG）需要の増加に確実に対応し、将来のカーボンニュートラル時代の道筋を描くことで、北海道のエネルギー安定供給とGXの推進に貢献してまいります。

※グリーン水素等の非化石エネルギー源を原料として製造された合成メタンに対して用いる呼称であり、e-メタンも燃焼時に二酸化炭素を排出するものの、原料に排ガス等から回収した二酸化炭素を使用するため、大気中のCO₂量は増加しない



(検討場所：苫小牧東港)



(参考：当社石狩LNG基地)

<検討の概要>

検討場所：苫小牧市字弁天（苫小牧港管理組合所有地）

検討設備：LNG基地（外航船受入設備、LNGタンク、LNG気化器、内航船・ローリー出荷設備等）、
水素・e-メタン活用設備ほか

以 上